

Alula Tour 2025

Stage 2 : Alula Old Town > Bir Jaydah Mountain Wirkah / 157,7 km

ラッカーニが積極的にアタックし、ファンチェルがベストメンバーと戦い 10位フィニッシュ！



開催日：1月29日

コース：Alula Old Town > Bir Jaydah Mountain Wirkah / 157,7 km

出走：17 teams (6 WT, 7 PT, 3 CT, 1 NT)

JCL TEAM UKYOメンバー：アレッサンドロ・ファンチェル, シモーネ・ラッカーニ, アンドレア・ダマート, ニコロ・ガリッポ, 小石祐馬, 小林海, 山本大喜

JCL TEAM UKYO監督：MANUELE BOARO

レース公式サイト：<https://www.thealulatour.com/en>

JCL TEAMUKYO公式サイト：<https://jcl-team-ukyo.jp/>

スプリンター向けのコースレイアウトの第1ステージとなっていたましたが、第2ステージはクライマーやパンチャー向けのコースレイアウト。

コースの勝負どころはビルジャイダ周辺のサーキット。ここでは「マウンテン・ウィルカ」(2.9km・平均勾配9.2%、最大勾配15%)の登坂が待ち受けていた。

JCL TEAM UKYOの作戦は逃げに乗ることと、ファンチェルとガリッボを守ることを戦略に設定。

序盤、今季新加入のシモーネ・ラッカーニを含む5名が逃げに成功。

メイン集団から最大2分30秒のリードを得たが、メイングループはジェイコ・アルウラ、ピクニック・ポストNL、Q36.5プロサイクリングチームが追走の主導権を握った。

ラッカーニは果敢に逃げ続け、レース後半に設けられた周回コースに入る手前でアタック。レインダースと共に抜け出し、他の逃げメンバーはメイン集団に吸収された。

しかし、レース主催者は下り区間の安全性に問題があると判断し一旦レースニュートラルとなる。

コミッセールパネルは残り5km地点からレースを再開することを決定。



再スタート後、有力チームが猛烈なペースアップを行いながら最後の登坂区間に突入。
10名ほどに絞られた集団からアタックしたトム・ピドcock(Q36.5)が優勝。
アレッサンドロ・ファンチェルは懸命に食らいつき、10位でフィニッシュ。総合成績でも17位になり、新人賞でも4秒差の2位に浮上。クイーンステージとなる第4ステージの「ハット・ウワイリッド展望台」への登坂でさらなる上位進出を狙う。

明日の第3ステージはヘグラからタイマフォートへの180.6kmの完全平坦ステージ。スプリンターたちが再び主役となる。アンドレア・ダマートも、第1ステージの10位を上回る結果を目指す

ラッカーニのコメント

「最後の登り口で捕まってしまったのは残念だけど、全力を尽くした。これ以上はどうにもできなかったよ。シーズンはまだ始まったばかりだから、これからもっと成長して大きな結果を出したい。逃げ集団の強調できていたし、ニュートラルになる前に2人で先行できたのも良い経験になった。」



Result

STAGE 2 RESULTS

1. Thomas Pidcock (Q36.5 Pro Cycling Team) in 3h18'15"
2. Rainer Kepplinger (Bahrain – Victorious) +4"
3. Alan Hatherly (Team Jayco AlUla) +7"
10. Alessandro Fancellu (JCL Team Ukyo)

STAGE 2 GC

1. Thomas Pidcock (Q36.5 Pro Cycling Team) in 3h18'15"
2. Rainer Kepplinger (Bahrain – Victorious) +8"
3. Alan Hatherly (Team Jayco AlUla) +13"
17. Alessandro Fancellu (JCL Team Ukyo) +1'01"

JCL TEAM UKYO ならびにこのレポートに関するお問い合わせ: KATAYAMA PLANNING株式会社
田村 遼(広報) Mail: tamura@kplanning.co.jp TEL: 090-44551-4021
増田 深雪(広報) Mail: m-masuda@k-planning.co.jp

